

宮森敬子

個展

keiko Miyamori



2019/9/13(金) ~ 10/13(日)

- ※ 一階「一房の葡萄」でコーヒーをご注文頂いた方に、宮森敬子オリジナルカードを差し上げます。
- ※ 軽井沢高原文庫 1F ショップにて「宮森敬子 A Portrait of Being (肖像なるもの)」（特製カード・ブックバンド・日本語訳付）税込 1,000 円にて販売しています。

時間 9:00 ~ 17:00 会期中無休

場所 軽井沢高原文庫 有島武郎別荘「浄月庵」内

料金 軽井沢高原文庫入館料 大人 700 円 小中学生 300 円

制作：宮森敬子 協力：軽井沢高原文庫

お問い合わせ

軽井沢高原文庫 <http://kogenbunko.jp>

Tel: 0267-45-1175 e-mail: kogenbunko@yahoo.co.jp

389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉 202-3

ある小説家の肖像

～生きているものと死んでいるものの中に～

生きている樹は成長しますが、その表面は、新陳代謝で皮膚がはがれるように、剥がれてゆきます。

そんな生きているものと、死んでいるものの中にある樹皮に魅力を感じ、各地で樹拓(じゅたく)を採集してきました。

「ある小説家の肖像」という題名がついていますが、そこには肖像画はありません。

たくさんの和紙や木炭の痕跡が、重なったり、揺れ動いたりしながら、有島武郎旧別荘「浄月庵」内に展示されます。

今まで行われたことのない試みです。ぜひ、「肖像」の意味を探しに、「浄月庵」にいらしてください。

宮森敬子 keiko Miyamori 略歴

日本とアメリカを行き来しつつ、「世界各地の樹皮模様を和紙に写す」活動をしながら、作品を制作しています。神奈川県横浜市出身、筑波大学日本画専攻、筑波大学大学院日本画研究科卒業。

1994年 三木多間賞受賞 (絵画)

1998年 文化庁新進芸術家海外留学制度により米国ペンシルバニア大学大学院在籍

2000年 フィラデルフィアで作品制作開始

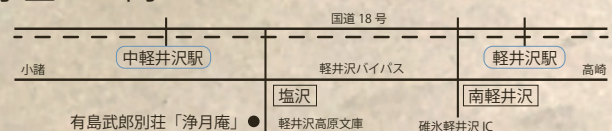
2011年 ニューヨークに工房を移す

2018年 信濃毎日新聞 (加藤典洋氏のコラム)

挿絵「樹拓シリーズ」

米国受賞歴

The Meijer Sculpture Competition(2004) 大賞、
Leeway Foundation Transformation Award (2008)、
The Independence Foundation Fellowships in the Arts (2010)、など



アクセス

JR北陸新幹線・しなの鉄道「軽井沢駅」または、しなの鉄道「中軽井沢駅」下車
<急行塩沢湖線>「軽井沢駅北口バスターミナル④番」→「塩沢湖」下車 徒歩1分
<町内循環バス>「軽井沢駅北口バスターミナル①番」→「塩沢湖」下車 徒歩1分
上信越自動車道「碓氷軽井沢IC」より車で約15分